

甲府市議会「政友クラブ」視察研修報告書

報告者 鮫田 光一

1. 日程

令和3年11月10日（水）～令和3年11月12日（金）

2. 視察先。内容

- ① 愛媛県今治市 『今治タオルブランドの認定と情報発信について』
- ② 愛媛県今治市 『今治市の観光施策について』
- ③ 愛媛県今治市 『博物館を活用した歴史文化の振興について』
- ④ 愛媛県松山市 『中核市サミット2021in松山への参加』

3. 参加者9名

池谷 陸雄 原田 洋二 鈴木 篤 坂本 信康
長沼 達彦 小澤 浩 末木 咲子 深沢 健吾
鮫田 光一

【視察概要①】

① 愛媛県今治市

- (1) 視察日時 11月10日（水）
- (2) 視察場所 今治タオル工業組合
- (3) 視察内容 『今治タオルブランドの認定と情報発信について』
- (4) 対応者 今治タオル工業組合 専務理事 木村忠司様

② 視察内容

政友クラブ 池谷代表 挨拶

今治タオル工業組合 専務理事 木村忠司様 より説明

・概況

廃業する会社が多くなり、2007年にブランディングをしようということになった。
アートディレクターの佐藤司土和氏に依頼し、プロデュースしてもらった。
ロゴに「imabari towel Japan」を入れて、海外でもわかるようにした。

・今治タオル工業組合

沿革

昭和 27 年 11 月 中四国タオル調整組合を設立

昭和 33 年 6 月 四国タオル工業組合に改組

平成 29 年 1 月 今治タオル工業組合に改組

概要(2020 年 12 月末現在)

組合員数 102 社

職員数 8 人

年間総収入 513 百万円(2020 年度)

事業内容 組合ブランド推進事業

共同購買事業

タオル製造業に関する調査研究 他

・タオルの国産は 20%、アパレルは 2%である。ブランド化の成果は生産数量の 28%増加、市場での輸入品との差別化、価格交渉力の向上、人材の確保が改善、企業価値の向上から M&A、積極的な設備投資、参加した企業だけが良くなったのではなく、産地全体が復興と多数ある。

・ブランド化への基本的な考え方は、産地で危機感を共有し一つにまとまり、今治タオルの本質的な価値を明確にして厳密に定義する。また、今治タオルの価値を世の中に伝える仕組みを構築し、ブランド力を生かして組合が利益を生み出せる事業展開を行い、その利益で継続的な PR 活動を行っていく。

・今後の取り組みは、ブランドを守る、人手不足と人材育成、産地の分業体制を維持・再構築する、メーカーブランドの育成、「今治」という地域のブランド化、コンプライアンス（法令遵守）と CSR（社会的責任）の強化である。

・タオルマイスター制度とは 2008 年に制度設立し、品質を担保した。さらに良くするには継承が必要との事。技術者は各会社でも地位が高くないので、表彰して地位を高めた。厚生労働省が認定した社内検定制度を復活した。社内検定一級に合格して、教える資格を持った方がマイスターとなる。今治タオルアカデミーを開設した。タオル組合が機械などを購入して、全ての工程を勉強できるようにする。来年の 4 月から 5 名の生徒を育てる。

・技能実習生はいなく、織機の正規職人は少ないが入っている。賃金が安いのでなかなか選ばれない。今治タオルはいままで下請けで作っていた。今は売る努力をしている。

・タオルの乾燥方法はできれば日陰で干すと柔らかさが持続する。乾燥機で干した後はやわらかいが、その後はやわらかさは持続しない。

お礼の言葉 長沼達彦 議員





【視察概要②】

①愛媛県今治市

- (1) 視察日時 11月12日(金)
- (2) 視察場所 今治市役所
- (3) 視察内容 『今治市の観光施策について』
- (4) 対応者 今治市議会 議長 近藤博 様
観光課 鳥生様 吉井様

②視察内容

今治市議会 議長 近藤博 様 ご挨拶

平安時代に伊予の国と言われた。12市町村が合併をした。(合併前は188人議員がいたが現在は30人)世界的にもサイクリングが有名。JRも自転車を載せてくれる。ホテルにも自転車を部屋にかけられるようになっている部屋もある。世界から約8000名参加する大会がある。大山づみ神社、お遍路さん(市内6カ所)、村上水軍(当時は1万人の兵力)、1兆500億の工業生産(タオル、造船日本一)、国際舵博覧会などがある。

政友クラブ 池谷陸雄 代表

「今治市の観光施策」

観光課 鳥生様 吉井様 より説明

- ・しまなみ海道は、サイクリングロード約70km、8つの島を9本の橋で結ぶ。姉妹都市「尾道市」との連携をしている。観光分野はすそ野が広い。今治市観光振興計画を策定した。
- ・村上海賊は日本遺産「日本最大の海賊の本拠地：芸予諸島～よみがえる村上海賊”Murakami KAIZOKU”の記憶～」で有名である。
- ・一般社団法人しまなみジャパンの取り組みとしては、国内外の多くの人に来訪される地域となるために、エリア全体の一貫したマーケティング戦略のもと、広域的にマネジメントし、民間事業者と共同しながら観光産業振興を図ることを目的としている。
- ・新型コロナウイルス感染症対応は宿泊・貸切バス事業者エール支援金、ふるさと魅力再発見の旅(市民の市内観光資源等をめぐる)、今治市イマ旅宿泊観光クーポン(愛媛県民を対象)
- ・今後の課題としては、ワーケーション事業(国立・国定公園・温泉地でのワーケーション推進事業10/10環境省)、修学旅行誘致である。
- ・しまなみレンタサイクルは、どこでも借りられて、どこでも乗り捨てできる。6つの橋の形状が楽しく、18あるターミナル、831台のレンタサイクル保有。(他に尾道市には1000台)、1日2000円+保証料1100円(保証料は乗り捨ての場合は戻ってこない)外国人の伸びが良かった。平成30年で33万人が来ている。サイクリングターミナル(サンラ

イズ糸山、今治駅サイクリングターミナル)、愛媛県が進める「自転車新文化」の推進～サイクリングは人に健康・生きがい・友情を与える～がある。国際サイクリング大会・愛媛マルゴト自転車構想・自転車安全利用促進条例、四国一周サイクリング、ブルーライン(路面案内ピクトなど)の整備、4か国語での案内板、Location Marker 緊急時に自分がいる場所がわかる表示板、しまなみサイクルオアシス(民間店舗に協力を仰ぎ、水補給、空気入れ、トイレ)、しまなみ海道手ぶらサイクリングサービス(当日次の宿泊先まで宅急便で送ってくれる佐川急便)、道路の歩道を狭めて自転車専用道を新設、思いやり 1.5m & 走ろう!車道運動、サイクルトレインしまなみ号、四国開発フェリー(株)の取り組み(フェリーに完全個室で自転車を乗り入れられる部屋)、民間資本によるサービスの補完(サイクルタクシー、パンクなどのトラブル対応)、国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」、E-BIKE(電動アシスト)、愛媛サイクリングの日(H27年度から)、今治市サイクルライフ促進事業費補助金、インフラツーリズム(橋の上に昇る、点検用通路を通る)島にはキャンプ場や展望台などのアクティビティーがあるので体験してもらう。アクティビティーに来られた方にサイクリングを体験してもらう)、村上海賊「海賊むすび」、郷土料理の売り込みなど様々な事業で展開されている。

- ・ワーケーション事業については、国立・国定公園、温泉地でのワーケーション推進事業(10/10 環境省)で、一つの事業者ではなく複数の事業者で国に直接申請するのを市がサポートをした。(Wifi 整備、E-BIKE 整備など)
- ・ターミナルは橋の両側にあって、人が常駐して、レンタサイクルを借りた方が事故や故障した際などはサポートをしている。途中で帰りたい方は、公共バスなどがある。
- ・市民へのサイクリングバイクの補助は、上限が3万円の3/10である。
- ・自転車の普及率は、統計がないが高い。ドライバーにもブルーの線が引かれているのでわかるので気を付ける。サイクリストフレンドリーの街として定着をしてきた。

お礼の挨拶 政友クラブ 長沼 達彦 議員





【視察概要③】

①愛媛県今治市

- (1) 視察日時 11月12日(金)
- (2) 視察場所 村上海賊ミュージアム
- (3) 視察内容 『博物館を活用した歴史文化の振興について』
- (4) 対応者 館長 矢野 様

②視察内容

政友クラブ 代表 池谷陸雄 議員 挨拶

館長 矢野 様 挨拶

学芸員

昭和51年 中央公民館の中に能島村上水軍資料館が会館

平成16年 ミュージアム会館

総事業費約9億円(市単独予算、起債がほとんど)

【教育普及活動】

- ・運営の担い手は非常勤の顧問(元 教育長)、館長、学芸員2人、事務

【博物館】

学芸員は収集、保管、展示、調査研究である。正規の学芸員は少なく、別の博物館には学芸員がいないところもある。収集は地域から資料を収集、流出しないようにする。地域の博物館でもあるため、地域の歴史資料も把握、収集している。保管は温湿度管理、虫などに対して行っている。調査研究は、考古学(発掘、出土遺物)、文献史学(古文書など研究)で、人に知ってもらって大切だと思ってもらうためにシンポジウムなど開催している。展示は、特別展、常設展、企画展(他から資料を借りてきて展示)を実施しているほか、現在は村上家のおもてなしという展示をしている。教育普及としては、村上水軍として定着している、子どもたちに村上海賊を知ってもらう。イオンなどで自由研究の宿題サポートなどもしている。開館時のミッションは、H26年度に入館者数が伸びた。要因は和田竜「村上海賊の娘」を発刊され、本屋大賞を受賞され、ブームになった。「村上水軍」「村上海賊」で検索するところが一番出てくるので、様々な問い合わせがくる。ブームが一過性に終わらないように、常に新しいことをし続けることが必要。ブームが高まったところで、日本遺産に挑戦した。あえて「海賊」と呼んだ。海の安全を守る海賊。「観光振興」「地域活性化」への寄与、パンフレット発行、出前講座を実施している。日本遺産パートナー養成講座を開催したが、同じ人がくるので、子どもたちに知ってもらって大人に話し

てもらおうように、市内出前講座を開催した。日本遺産の活用では、活用するには調査研究が必要、みんなに大切だと思ってもらわなければならない。必要と思ってもらわなくなったら後世に残せない。他館との連携（広域連携特別展示）では、今治市村上海賊ミュージアム、松山市坂の上の雲ミュージアム、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）がある。村上海賊は、通行料をとって、安全に航海できるように道案内、ボディーガード、漁師などをしていた。西洋の Pirates とは違う。

- ・潮流が危険かどうかという資料が残ってはいないが、潮流から守ると他の海賊から守る役割があった。沈没船も発見されている
- ・日本遺産パートナー養成講座について、ボランティアは数名いる。コロナでなければこのミュージアム内も案内してくれる。市内だけではなくて市外県外の方もいる。
- ・村上海賊の娘さんが主人公ということでしたが、村上家の子孫のかたが残っている。



【視察概要④】

①愛媛県松山市

- (1) 視察日時 11月11日(木)
- (2) 視察場所 ANAクラウンプラザホテル松山
- (3) 視察内容 『中核市サミット 2021in 松山への参加』

②視察内容

中核市サミット 2021in 松山への参加







以上